

入院診療計画書

鼻の手術を受けられる方へ

治療法:

様




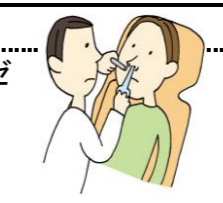




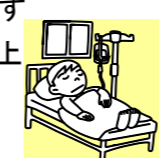







傷病名: 術後性頬部嚢胞症

症状:

西・東病棟

階 A・B

号室

月日	/	/	/	/	/	
項目	入院当日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	術後1日	2日 ~	退院当日
目標	治療方針・手術についての説明内容が理解できる		1. 術後出血を起こさず経過できる 2. 疼痛が最小限で過ごすことができる		退院後の生活に自信をもって退院できる	
説明	入院治療計画・手術の説明があります 看護師から入院時の説明があります 麻酔科外来を受診して頂きます	手術室へ行く前に、名前と血液型を確認します	医師より手術の結果について説明があります	感染防止のために、うがいや手洗いをこまめにしましょう 鼻の穴に直接、手を触れないようにしましょう 鼻の綿球は汚れたら、すぐ取り替えましょう 痰や血液はそのままのままでください 痛みや出血時はすぐ知らせてください 鼻ガーゼや綿球が入っているうちは口呼吸して頂きます(マスクをしたり、うがいをして感染防止に努めましょう) 鼻汁はふき取り、鼻を強くかまないようにしましょう	・医師より退院についての説明があります 〈再来日について〉 ・医師と相談して決定します 〈職場・学校等の復帰について〉 ・医師と相談しましょう 〈日常生活について〉 ・無理はせず、規則的な生活を送るようにしましょう ・上気道感染予防のため、手洗いうがいを心がけましょう ・飲酒は血行が促進されるため出血の原因となり、喫煙は血行障害を起こし傷の治りを遅らせる可能性があるため控えましょう ・内服薬が処方された方は、忘れずに飲みましょう ・熱いお風呂は粘膜を拡張し、出血し易くなるため控えましょう ・鼻閉・鼻漏・後鼻漏・嗅覚障害・頭痛がある場合は、早期に外来を受診しましょう	
指導	看護師から手術前の説明があります	入れ歯・指輪・時計 ピン・メガネ・コンタクト レンズなどは外して頂きます				
教育		時間にあわせて手術室へ入室します				
治療	麻酔科外来の診察があります	OS-1は麻酔科の指示通りに飲水します 常用薬は麻酔科の指示通り内服します	酸素吸入をします 点滴をします 必要により手術室で尿の管を入れます	鼻の診察をします 鼻内のガーゼを抜きます 抗生剤の点滴をします 尿の管を抜きます 必要時血液検査をします	 	
処置						
検査						
活動	自由です 外出・外泊は、主治医の許可が必要です		医師の指示があるまでベッド上安静となります 排尿・排便は、ベッド上で行って頂きます	歩行ができます 体を拭きます	シャワーができます	
清潔						
行動						
食事	夕食後は、何もたべられません 飲水は()時までです	朝食は、食べられません ()時まで飲水ができます	()時から飲水ができます	朝より食事ができます		
内服薬					抗生剤の内服が開始となります	
変更事項						

特別な栄養管理の必要性 有・無

年 月 日

岩手医科大学附属病院 耳鼻咽喉科

在宅復帰支援計画 無・有()

主治医名

総合的な機能評価 無・有()

担当以外の担当者

【診断群分類番号】030360xxxxxxxx

在宅復帰支援担当者

【診断群分類区分】副鼻腔嚢胞、鼻前庭嚢胞

本人・家族

注1) 病名等は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることがあります。

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものです。 注) 原本患者保管・自署以外のサインは印が必要です。